

議会報告会実施報告書

開催日時	平成29年1月6日(金) 午後3時00分～午後4時30分	
開催場所	市民交流センター ふじぎくら 交流ホール	
出席議員	司会者	田代耕一
	記録者	高木理文 芹沢修治
	報告者	勝間田幹也
	その他	杉山章夫(写真) 高橋靖銘(受付・PC操作)
参加人数	30名	
実施内容	<p>1 テーマ選定の理由説明 『地域公共交通』の調査研究について</p> <p>2 視察研修先の説明(北海道北斗市、愛知県豊田市、愛知県蒲郡市)</p> <p>(1) 視察内容について</p> <p>(2) 費用内訳について</p> <p>(3) 視察感想・考察について</p> <p>3 御殿場市の取り組みの説明 『高齢者等タクシー及びバス利用料金助成』について</p> <p>4 参加者質疑・意見交換</p>	
主な意見・提言等	<p>1 御殿場市の取り組みについて</p> <p>(1) 利用者の予測についてと財政面について</p> <p>(2) 他地域の事例の参考例について</p> <p>(3) 助成の条件について 免許証の有無を家庭単位ではなく個人単位とした方が良いなど</p> <p>2 今回のテーマ以外について</p> <p>(1) 温泉利用等ができる「健やか事業利用券」について 記名にした理由、家族利用可能とはならないかなど</p> <p>(2) 市の予算規模と市議会議員のチェック機能の充実、重要性について</p>	

以上のとおり、報告します。

平成29年1月12日

御殿場市議会議長 様

総務委員会 委員長 勝間田 幹 也



2017年1月6日 総務委員会議会報告会 質疑・意見（要旨）

① 御殿場市高齢者等タクシー及びバス利用料金助成事業について

- ・ 市内の利用者予想は、どの程度か。また、地域的にも個人的にも財政的に豊かな地域・人があり、その逆のケースもあるが、どう考えるのか。
- ・ 他地域の事例で、どの程度の利用者がいるのか、参考となる例はあるか。
- ・ はり・きゅう・マッサージ券や、温泉利用券が記名になった経過について。また、この事業の目的通りに利用されている都市は評価しているのか、他人が利用するなどの抜け道利用はないのか。（家族間でも利用できないのに、他人が利用できるようなことはないのか）
- ・ スムーズに使ってもらえればよいわけで、職員が不正利用のチェックのために時間を費やすなんてことがあるべきではない。

- * 財産区議員と市議会議員では、予算規模が大きく違う。財産区議員より少ない21人の市議会議員が、市の予算をチェックしていることを総務委員会は自覚して、しっかりやってほしい。

委員：利用予測や温泉券などが記名になった経緯は、後日報告する。

② 御殿場市高齢者等タクシー及びバス利用料金助成事業について

- ・ 助成の条件が、免許証のある人はダメとなっている。女性は、男性に乗せてもらって出かけなければならないようだ。個人で行動できるように、当事者にとっての補助があるべき。
- ・ 温泉券は、家族券のようにしてもらいたい。また、利用状況について市民への説明があると、市の施策についての理解度もわかってよいのではないか。

委員：蒲郡市では、対象者に対して年齢ですべて発行、免許証の有無は関係ない。

マッサージ券の記名は、人にやってしまう事があって、記名になった？今回のタクシー・バス助成事業については、福祉政策なのか否かの議論があったが、当局は、今回はこれでやらしてもらいたいとのこと。

- ・ 温泉券の家族同伴の利用は、介助を必要とする人の場合は可。

- * 老人会の補助金が、介護福祉課から出ている。県内の多くの自治体は、長寿健康課などの元気で長生きしてほしいという願いを受けた担当課から出ている。「姥捨て山」的発想であり、検討してもらいたい。

- * 農業政策になるが、かつての富士芝の良かった時代が終わり、今は荒れ放題。田に転用もできず、荒れ放題。土地改良のあり方を、現地を見て考えてほしい。耕作放棄地も同様。ポンプアップする水代が、負担となっている。